

次世代自動車用・産業用コンデンサの新素材研究・新製品開発を加速 コンデンサ研究開発棟を移転新設

株式会社指月電機製作所は、今後ますます拡大、高度化する次世代自動車用・産業用コンデンサの需要に対応し、新素材、新製品開発を加速するため、兵庫県西宮市に「コンデンサ研究開発棟」を建設します。



コンデンサ研究開発棟のイメージ図

【コンデンサ研究開発棟の概要】

所在地	兵庫県西宮市国見台六丁目 8 番 2
延床面積	3,140 m ²
構造	鉄骨造、地上 2 階建
主な建物用途	コンデンサの研究開発
竣工・稼働開始予定	2018 年 8 月末日竣工、順次稼働
投資額	約 6 億円(建物)

【建設の理由】

近年、自動車市場では地球環境保護の観点から次世代自動車の需要が急速に高まり、また、産業市場においては、電気の効率利用・省エネを目的としたインバータ化が加速するなど、高信頼性、高品質なコンデンサの需要が拡大しています。

この拡大、高度化するコンデンサの新素材研究、新製品開発を加速するため、現R&Dセンター(岡山県総社市)を移転し、兵庫県西宮市に「コンデンサ研究開発棟」を新設します。さらに、コンデンサ応用技術である電力機器についても、電力機器開発部門と連携し開発を強化します。

なお、R&Dセンター移転後の建屋は、当社の連結子会社である岡山指月株式会社で増産体制を強化している次世代自動車用コンデンサの生産棟として使用します。